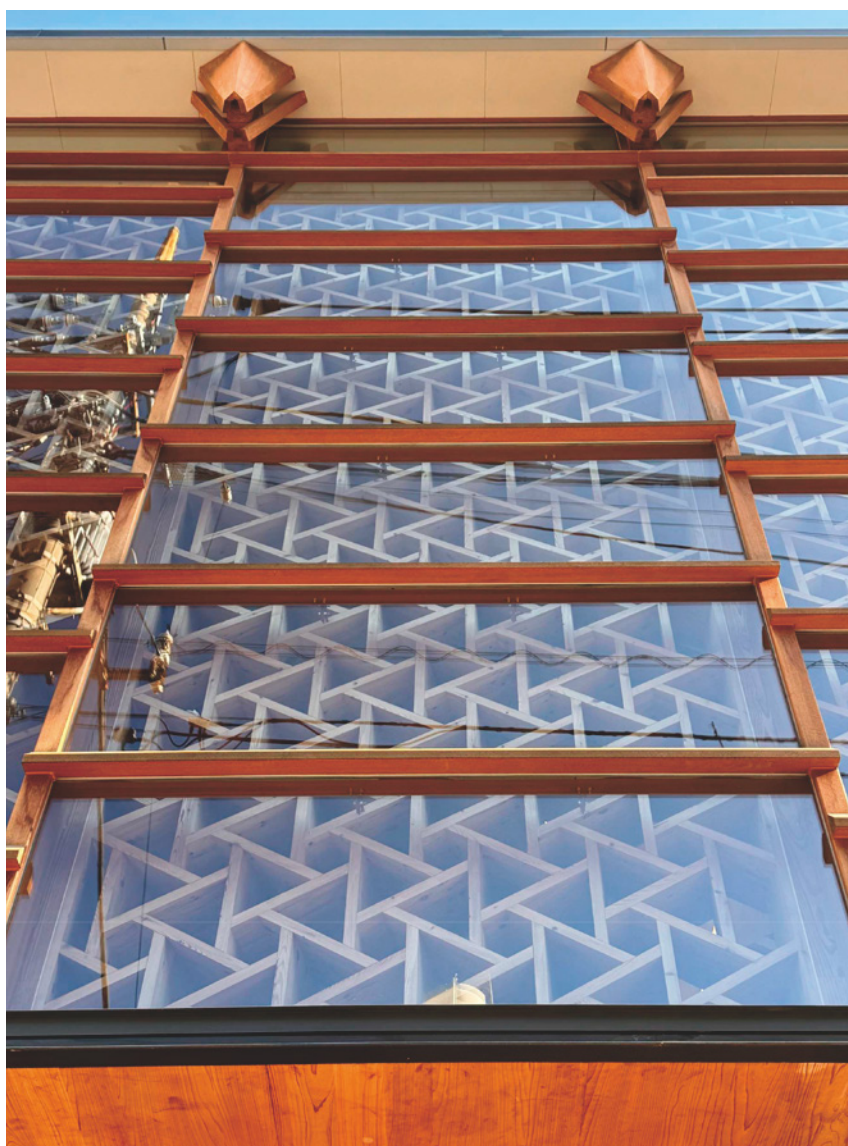


ウツデイ エイジ

◎木材の研究と普及◎ 監修：林産試験場



森林環境譲与税の概要と道内における活用状況

ウツデイ エイジ

木材の研究と普及
第74巻3号・通巻859号

目 次

2025年度通常総会記念講演	1
森林環境譲与税の概要と道内における活用状況	2
木材利用の試験研究機関に勤務して⑫ ～普及課で世間の広さを学ぶ・中編～	6
協会からのお知らせ 新しい支援事業を始めます	8

※木材研究へのデジタル画像の応用	9
※カラマツの年輪をAIで検出する	13
※行政の窓〔「HOKKAIDO WOOD」ブランドを 活用した道産木材のPRについて〕	17
林産試ニュース・北森カレッジニュース	18

※：林産試日より2025年3月号からの転載
((地独)北海道立総合研究機構森林研究本部林産試験場 承諾)



日刊木材新聞社新社屋 東京都江東区

日刊木材新聞の新社屋には、主構造材に福島県産カラマツ集成材、内装にスギ、タモをはじめとする様々な木材が使用されています。それら木材の特性を活かした設計により、自然光の取り入れや通風が考慮され、エネルギー効率の向上が実現されています。さらに、CLTやLVLなども導入され、耐震性能や耐火性能の向上が図られています。

ファサードは、特徴的な「三角樹(ます)格子」がカーテンウォール越しに見えるデザインとなっています。

このような革新的な建築手法の融合が評価され、第24回木材活用コンクール最優秀賞を受賞しています。